

中学校 外国語 言語活動の充実 指導のポイント

教科目標

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

基礎的・基本的な知識及び技能の習得、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育む

言語活動の充実

実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの学習活動や、文法事項等の言語材料について理解したり練習したりする学習活動を充実する。「聞くこと」「読むこと」については、英語の意味を表面的に理解するだけでなく、相手の意向などを理解する学習活動を、「話すこと」「書くこと」については、学習した言語材料を用いて、自分の考えなどを表現する学習活動を充実する。外国語科の言語活動は外国語で行うことである点に留意する。

中学校外国語は言語活動の充実のために時数が増えます。教科書の分量も増えますが、増えた時数を教科書の内容理解に全て充てるのではなく、学習した内容を基に豊かな言語活動を展開する事が大切です。その参考にしていただくために、Let's Read 単元と Unit 単元の 2 例を提示します。

事例 1 : 読んだことを基に自分の生き方や在り方を考える事例

1 学年 第 2 学年

2 単元名 Let's Read 2 Try to Be the Only One

3 単元の目標

【表】自分の生い立ちや個性、将来の夢について 7 文以上の英文で書く。

【理】・新垣勉の生い立ちを自分と比べたり重ね合わせたりしながら読む。

・沖縄の文化や歴史を理解する。

【関】自分の生い立ちや個性、将来の夢について、必要に応じて辞書等を用いて 7 文以上書くことに取り組む。

※ 【言・文】は本単元では設定しない。

4 言語活動の充実の視点

視点 1 : 本文に書かれていない主人公の言葉を作文することを通じて、主人公の心情の理解を深める。

視点 2 : 学習した言語材料を用いて、自分の生い立ちや個性、将来の夢について作文する。

5 主な学習活動 (全 8 時間)

| 時間 | 学習活動 |
|-----|---|
| 1 | ・新垣勉の生い立ちを理解する。 |
| 2 | ・牧師との出会いについて理解する。 |
| 3 | ・新垣勉が自分の生い立ちについて牧師に語った言葉を想像し、作文する。 視点 1 |
| 4 | ・牧師の家族との生活や大学生活について理解する。 |
| 5 | ・新垣勉が歌手になった経緯や歌手としてのモットーを理解する。 |
| 6 | ・自分の生い立ちや個性、将来の夢について作文するために有効な表現を書き出す。併せて、不定詞の名詞的用法と動名詞の用法を確認する。 |
| 7~8 | ・自分の生い立ちや個性、将来の夢について作文する。その後、グループで互いの作文を読み合い、他者の作文を参考に自分の作文を練り直し、書き上げる。 視点 2 |

事例2 : 思考・判断しながらスキットを作成し演じる事例

- 1 学年 第3学年
- 2 単元名 Unit 6 Break the Barrier
- 3 単元の目標

【表】 黒人のメジャーリーグ参加を支援する人々と、それに反対する人々とのスキットを作成し演じる。

【理】 J. Robinson の生涯と功績、当時の人種問題について理解する。

【関】 聞き手が分かりやすいように話し方を工夫してスキットを発表する。

【言・文】 接触節と関係代名詞を用いた文の構造を理解する。

4 言語活動の充実の視点

視点1 : スキットを作成し演じることを通じて、当時の社会の様子や J. Robinson の業績について理解を深める。

視点2 : スキットの発表後、用いた関係代名詞の文を見直し、文構造の理解を深める。

5 主な学習活動 (全10時間)

| 時間 | 学習活動 |
|-----|---|
| 1～3 | Starting Out, Dialog ・写真の人物、接触節、関係代名詞について理解する。 |
| 4～6 | Reading for Communication ・J. Robinson の生涯と業績について理解する。 |
| 7 | ・黒人を支援する人々と反対する人々の考えを想像し、関係代名詞を用いて書く。 -He's a great player who makes MLB exciting. -There are a lot of people who hate him. など。 |
| 8～9 | ・4人グループで黒人を支援する人々と反対する人々のスキットを作成し演じる。演技を見ている生徒は、スキットで用いられた関係代名詞の文を書き取る。 視点1 |
| 10 | ・P66の課題Bを参考に、J. Robinson の伝記を読んで学んだことや考えたことを作文する。 ・スキットで用いた関係代名詞の文を見直し、文構造の理解を深める。 視点2 |

言語活動の内容の充実

- 学習した言語材料を用いて、互いの考えや気持ちなどを伝え合う言語活動を設定しましょう。事例1では、学習した be born in, take care of, be interested in, like to, begin to などの表現を用いて、自分の生い立ちや個性、夢などを作文する言語活動を行います。
- 新たなことを学び、見方や考え方を広げる言語活動を展開しましょう。事例2では、スキットの作成を通じて人種問題について理解を深め、学んだことや考えたことを作文します。

文法指導と言語活動

- 文法指導と言語活動の一体化を図りましょう。事例2では、第7～10時に生徒が用いる英文を教師が事前に予測し、それを第1～3時の文法指導の例文や練習に活用します。
- 互いの考えや気持ちなどを伝え合う言語活動を通じて、学習した言語材料の定着を図りましょう。事例2では、スキットで用いた関係代名詞の文を第10時に見直し、文構造を再確認して理解を深めます。

評価の観点

- 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」は、コミュニケーションに取り組む様子や継続させようとする努力の様子について評価します。事例1では第7・8時の作文への取組で、事例2では第8・9時の発表で評価します。
- 「文化についての理解」は、手紙やメールの書式など、理解をしていないとコミュニケーションに支障をきたす内容について評価します。本事例の「沖縄の文化」「人種問題」は、「外国語理解の能力」で評価します。